

種名	<p>チョウゲンボウ</p> <p><u>Falco tinnunculus</u></p> 												
	分類	ワシタカ目ハヤブサ科											
特徴	<p>停空飛行を頻繁に行う尾の長いハヤブサ類。オスは頭と尾が灰色で背面が茶褐色、メスは上面が茶褐色で一面に黒色横斑がある。ユーラシア大陸の亜寒帯から亜熱帯、アフリカ大陸の北岸および南部に広く繁殖地を持つ。日本では本州北部から中部で繁殖するが北海道、四国、九州でも繁殖期に目撃されている。秋冬には一部移動があり全国で見られる。天然記念物に指定されている集団繁殖する崖もある。</p>												
生活	<p>農耕地、原野、広い川原、干拓地、丘陵を狩り場とし、しばしば気や杭などの見張り場にとまっている。ひとたび舞い上がった後は、次々と場所を変えては長い停空飛翔をし、地上の獲物を探す。獲物を見つけると、停空飛翔をしながら段階的に高度を下げていき、最後は翼を高くかかげたままスッと降下して、地上で獲物を押える。獲物はネズミ、昆虫、鳥が多い。安全なら、捕まえた獲物はその場で食べる。4月初旬頃に海岸とか川岸の断崖の横穴や岩棚、樹洞などに直接4～5卵を産む。カラスの古巣や建物のすき間を利用した例もある。抱卵日数、巣立ちまでの日数はともに30日位である。</p>												
声	<p>繁殖期以外はほとんど鳴かない。繁殖期には、オスは「キィキィキィキィ」と細い声で鳴き、メスは少し柔らかな声で「ピーピーピー」とか「クィクィクィクィ」と鳴く。また、給餌の時には「ピーピーピー」とやさしい声を出す。</p>												
見分け方	<p>尾が長く翼先はあまり尖っていない。ひらひら飛び頻繁に停空飛翔をするなどで、見分けはやさしい。</p>												
時期	繁殖地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	越冬地	1	2	3	・	・	・	・	・	・	10	11	12
その他	全長(L) 33cm, 38cm 翼開長(W)69～76cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													